

機械技術者生活を語る座談会 趣意書

平成 27 年 6 月 27 日
機械クラブ座談会部会
部 会 長 坂口忠司
副部会長 永島忠男

機械クラブでは、活動の活性化が永年の課題であり、活動を活性化すると共に、諸活動への参加者を若年層にまで広め、浸透させ、会員相互の輪を広げる為に、これまで座談会部会では、「機械系工学科の思い出を語る座談会」を 3 回開催してきました。

更に世代間の交流をはかり、機械クラブの活性化を加速させるためには、若い人との交流が必須であり、座談会部会でも模索している時に、第 1 回座談会開催後に参加者の 1 人から、若い人との交流の展開方法として、卒業生の中には、定年退職後時間的に余裕のある経験豊富な機械技術者が沢山いるので、その中の数人の人が、これからエンジニアとして、世に出ようとしている若者の参考になる成功例、失敗例などの話をして、若者からの質問を受け、意見交換するなど若者との交流の場を持つべきだとの提案がありました。

座談会部会では、この提案を受け、副題を「70 歳前後の卒業生と 20 歳以上の学生を主とする若い機械技術者を目指す人との懇談会」と致しました。

若者も社会に出て直ぐでは、中々懇談会に出てくるのが難しいため、まず学生との懇談会にすることにしました。

機械クラブの行事に、学生に参加してもらうためには、大学側の承認が、必要であります。この点に関しては、大学の講義等の時間を避け土曜日なら問題ないと、専攻長の承認を得ましたので、開催は土曜日とします。

現在機械クラブの行事に学生が、参加しているのは、講演会や見学会などがありますが、学生が主役で参加するのは、この座談会が、初めての試みであります。

この座談会に参加した学生が、将来機械クラブ会員の中核になって活動してくれる事を期待しております。

第 1 回は、3 名の卒業生と 9 名の学生の参加で、今年 10 月に開催を計画中であります。尚この座談会は、学生が主役のため、座談会後の寄稿文の提出依頼は、行ないません。

最後に、このような学生との交流こそが、機械クラブの活性化に繋がると考えますので、関係各位のご協力をお願い致します。

以上